

阪神間モダニズム

六甲山麓に花開いた文化、明治末期—昭和15年の軌跡

編著＝「阪神間モダニズム」展実行委員会

企画・監修＝兵庫県立近代美術館

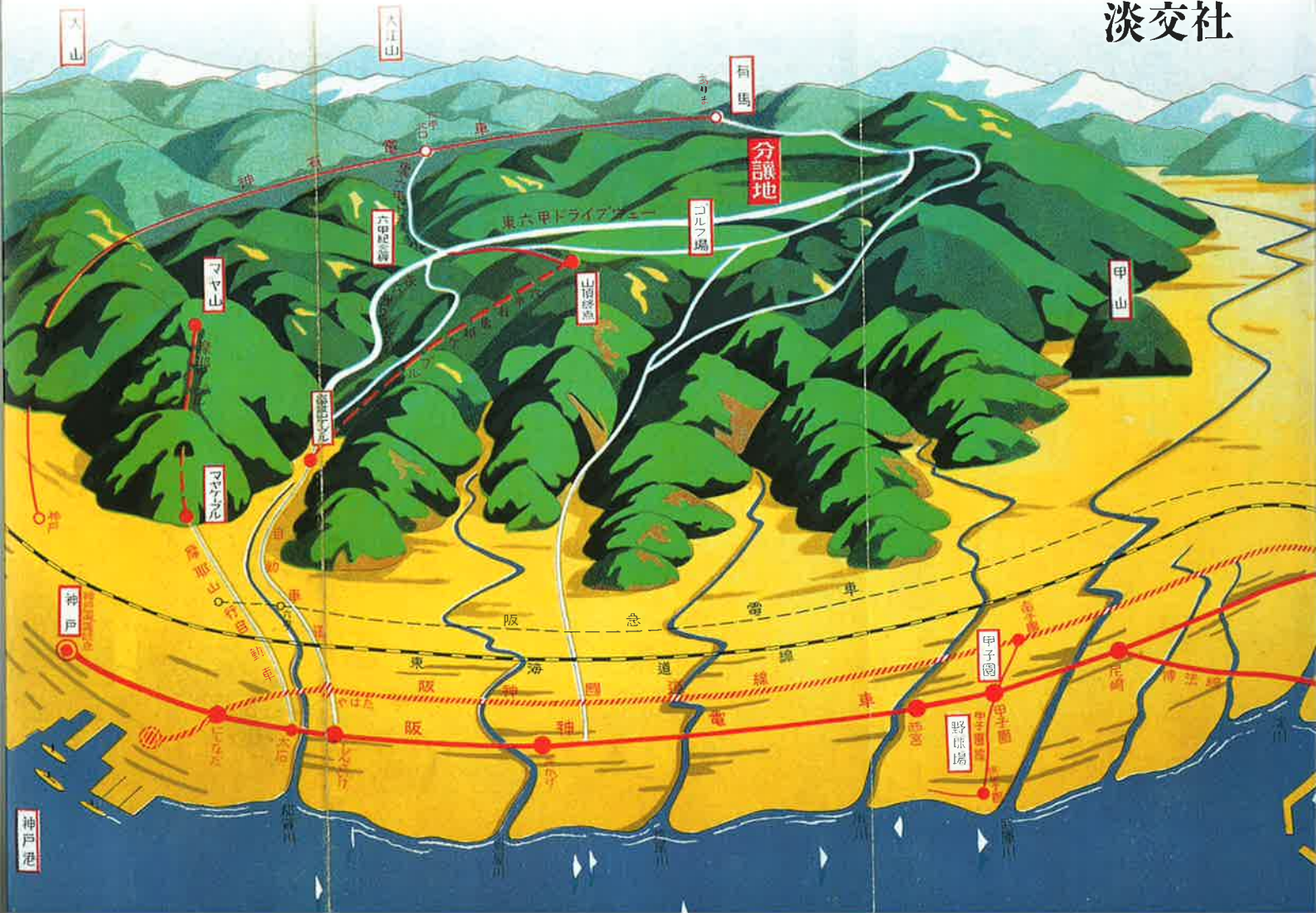
西宮市大谷記念美術館

芦屋市立美術博物館

芦屋市谷崎潤一郎記念館



淡交社



はじめに

ここに紹介する「阪神間」とは

大阪と神戸に挟まれた

六甲山を背景とする地域を指します。

この地域は、明治時代の鉄道の開通とともに

大阪商人らの別荘地、郊外住宅地として

めざましい発展を遂げ、

大正時代から昭和初期にかけて

西洋文化の浸透と相まって

新しいライフスタイルを築き上げました。

明治時代末期から昭和十五年頃の間の

これらの出来事をたどりつつ、阪神間に位置する

兵庫県立近代美術館、西宮市大谷記念美術館

芦屋市立美術博物館、芦屋市谷崎潤一郎記念館は

共同企画の展覧会として

「阪神間モダニズム展」を同時開催し、

現在の阪神間のルーツを探ります。

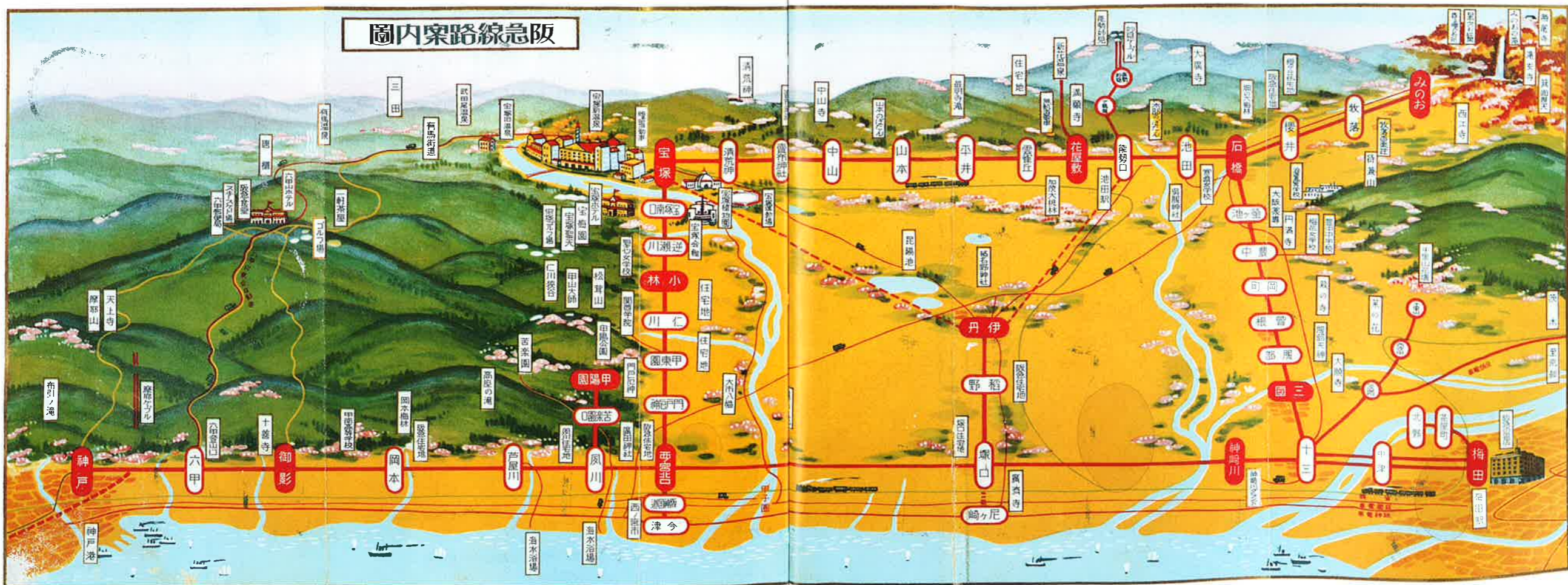
本書は、展覧会の内容に添って

郊外住宅地の形成、阪神間の建築、ライフスタイル、

美術、文学、娯楽などあらゆる角度から

「阪神間モダニズム」をとらえます。

阪急電鉄沿線案内綴込み
の沿線案内図 昭和6年



目次

阪神間を築いた交通インフラの発展 小松左京 — 22

第1章

郊外住宅地の形成 25

郊外住宅地の形成 坂本勝比古 — 26

コラム

苦楽園 — 29 甲陽園と甲陽土地株式会社 — 29 『市外居住のすすめ』 — 30 『郊外生活』 — 30
『山容水態』 — 30 久原房之助 — 44 雲雀丘、花屋敷住宅地 — 48

第2章

阪神間の建築 55

近代和風邸宅の展開と茶室 中村昌生 — 56

【阪神間の邸宅建築】美術工芸的住宅の開花 山形政昭 — 63

【阪神間の邸宅建築】ミッション建築家ヴォーリズの住宅とその遺産 山形政昭 — 72

【阪神間の邸宅建築】スパニッシュ・スタイルの邸宅 丸山もところ — 80

コラム

数寄者の茶室 — 62 芝川又右衛門別荘 — 69 木水栄太郎邸 — 69 日高胖と長谷部鋭吉の住宅 — 70 ウィリアム・メレル・ヴォーリズ — 77
関西学院の建築 — 78 アメリカン・ボード・ミッション住宅とナショナル・シティ銀行の住宅 — 79



鳥居清元



阪神間に生きた建築家とその作品 — 86

宗兵蔵 — 松岡道治邸／ライトの遺産 — ヨドコウ迎賓館／松井貴太郎 — 田中岩吉邸／渡辺節 — 乾新治邸／安井武雄 — 滴翠美術館とその周辺／竹腰健造 — 山本発次郎邸／村野藤吾 — 中山悦治邸／南 信 — 亀高五市邸／清水栄二 — 高嶋平介邸

【阪神間の公共建築】◆ポピュラリティーの表象 梅宮弘光 — 92

コラム

フリーアーキテクトの生き方 — 古塚正治の建築 — 96 清水栄二の一九三〇年代 — 御影公会堂前後 — 97
宝塚の大衆建築 — 98 甲子園球場 — 99 白鹿館 — 99 甲子園ホテルと国際ホテル — 100

花崗岩と松が織りなすランドスケープ◆白砂青松・赤松・御影石の石垣 三宅正弘 — 101

第3章 ライフスタイル — 105

「新日本趣味」のライフスタイル 河崎晃一 — 106

健康地のライフスタイルを築いた医学者たち 小野高裕 — 110

ホテル文化のさきがけ 角野幸博 — 115

阪神間の蒐集家たち 河崎晃一 — 119

近代数寄者の茶の湯 熊倉功夫 — 123

昭和ベル・エポックのファッション◆雑誌『ファッション』を中心に 堀江珠喜 — 126

音楽家の誕生◆貴志康一 小野高裕 — 131

ロシア人音楽家たち 小野高裕 — 136

阪神間出版外伝 明尾圭造 — 141



六麓荘経営地区劃圖



「美」を求めた教育 ◆芦屋児童の村小学校 加藤瑞穂 | 145

近代精神の結実 ◆三田谷治療教育院 加藤瑞穂 | 149

六甲の天王台と評された二楽荘 和田秀寿 | 154

『痴人の愛』から『細雪』へ ◆谷崎潤一郎と「居つかぬ新しい女」 たつみ都志 | 157

阪神間の住居・粗描 ◆谷崎潤一郎の表現から 藤原学 | 160

阪神文化のパイオニアたち 河内厚郎 | 164

文学表現にみる「阪神間」、その光と影 槌賀七代 | 166

コラム

佐多愛彦 | 111 二つの「文化村」 | 113 ゴッホの《向日葵》 | 122 『壺』の同人たち | 122 西川一草亭と阪神間 | 125 田中千代 | 130 大橋エレナ | 130

アレクサンダー・ルーチン | 139 アレクサンダー・モギレフスキー | 139 レオ・シロタ | 140 芦屋児童の村小学校 | 148

『少年竹内豊画集』装丁 | 中川紀元 | 148 三田谷治療教育院 | 152 『母と子』 | 152

神戸・阪神間に設立された主な私立の中等教育機関 | 153 倚松庵 | 162 敏馬の浦 | 162 阪神言葉 | 165



第4章 美術家たちの挑戦

阪神間の美術家たち 平井章一 | 185

原田の森の新興美術運動 平井章一 | 190

小出樞重の芦屋時代 西田桐子 | 193

吉原治良 平井章一 | 196

村上華岳と山下摩起 ◆日本画におけるモダニズム 枝松亜子 | 199



芦屋カメラクラブと新興写真運動 山本淳夫 | 202

阪神間の主な作家略歴 西田桐子 | 204

第5章 「新時代」の娯楽

新時代の娯楽 篠雅廣 | 210

宝塚歌劇レビューのはじまり 川辺雅美 | 213

ダンスホール 中井康之 | 216

阪神間に生まれた映画 杉山平一 | 218

鳴尾から甲子園へ 合田茂伸 | 220

沿線開発とアミューズメント施設 橋爪紳也 | 222

六甲山をめぐるスポーツと娯楽 田井玲子 | 227

阪神間の海辺 ◆海水浴 和田秀寿 | 230

コラム
テニスと甲子園 | 229

モダニズム再考 木下直之 | 233

阪神間モダニズム散歩 三ツ三俱樂部 | 236

阪神間の出来事 | 240 / 主要参考文献 | 242

